

暑熱環境下における対応とご協力のお願い

競技会開催において、競技者・審判・関係者・観客の安全と健康を守ることを最優先とし「[スポーツ活動中の熱中症予防ガイドブック](#)」(公益財団法人日本スポーツ協会)に基づいた安全な運営に取り組みます。

7月19日(土)～20日(日)岐阜県・岐阜メモリアルセンター長良川競技場で開催される「WPA 公認 第30回日本ID 陸上競技選手権大会(兼)パラ陸上競技記録会」においては、以下を判断の目安とし、暑熱対策に取り組みます。

<WBGTによる競技実施判断の目安>

WBGT 25 度以上	熱中症予防の観点から、水分補給や暑熱対策の機会を適宜設ける。
WBGT 28 度以上	・水分・塩分補給や休憩を十分にとる。 ・競技場内の全ての人に向けた注意喚起を行う。 ・暑熱環境下での長時間にわたる活動を避ける。 ・主催者によって設置する対策本部にて、危機管理および緊急時の対応方針に準じ、WBGT31 度を超えた場合の対応(中止・中断・延期・競技時間の変更等)について協議を行う。
WBGT 31 度以上	・日本スポーツ協会の熱中症予防運動指針、WBGT が 31 度以上の場合は「運動は原則中止」に基づき、WBGT が 31 度以上となった場合には、原則として中止または中断とする。

<競技実施の判断について>

事前に、猛暑・熱中症アラート等(荒天を含む)が予想される場合、大会前日の夕方以降に対策本部で状況を確認し、競技の実施・変更について検討の上、日本パラ陸上競技連盟ホームページや SNS で速やかにお知らせいたします。

前日に判断が難しい場合は、当日、競技開始の約 3 時間前に改めて協議し、実施可否及び競技時間の変更等を決定いたします。

当日競技開始後に、WBGT31 度以上となった場合、競技の中止・中断や競技時間の変更などをする場合があります。

<皆様へのお願い>

・競技会に関わるすべての皆さまの安全を守れるよう、ご理解とご協力をお願いします。

◆出場選手の皆さまへのお知らせ

- ・フィールド種目の競技エリアの選手待機場所や、招集所、ミックスゾーン等に、冷風機等を設置します。
- ・フィールド種目の競技エリアに、ウォーターサーバーを用意します。

◆観客の皆さまへのお知らせ

- ・体調がすぐれない場合は、スタッフにお声がけください。

◆審判および大会関係者の皆さまへ

- ・班ごとに交代しながら活動し、十分な休息を確保し、身体冷却に努めてください。
- ・フィールド種目は、競技エリアにクーラーボックスを設置いたします。
各自飲料等を持ち込み、水分補給を行ってください。
- ・キャップ、サングラスなど、暑熱対策グッズの着用を推奨します。
- ・審判やボランティア控室、プレスルームなどの関係者控室は、空調管理を行います。
- ・ウォーターサーバーなどの熱中症対策アイテムを用意します。